

予 算 要 求 資 料

令和7年度9月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：特定疾患対策費

事業名 特殊病室施設整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 難病対策係 電話番号：058-272-1111(内3320)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 8,160 千円 (現計予算額： 5,245 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	5,245	5,245	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	8,160	8,160	0	0	0	0	0	0	0
決定額	8,160	8,160	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

第3次岐阜県がん対策推進計画に基づき、がん拠点病院を中心とした診療提供体制の均てん化に取り組むため、骨髄移植を希望する血液難病等に苦しむ患者が地域において骨髄移植医療を受けやすい環境を整備する必要がある。

(2) 事業内容

骨髄移植施設等において骨髄移植の実施に必要な無菌治療室を整備する医療機関に対して補助を行う。

事業内容：一般病室2床を無菌治療室に改修

事業費：40,622千円

(3) 県負担・補助率の考え方

医療提供体制施設整備交付金交付要綱

岐阜県医療施設等施設整備費補助金交付要綱

負担区分 国0.33

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	8,160	無菌治療室の整備に対する補助金
合計	8,160	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業
☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

骨髄移植施設等に対し、骨髄移植医療に必要不可欠な無菌治療室を整備する事業を実施することにより、がん拠点病院を中心とした診療提供体制の均てん化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

医療機関の計画に基づく施設整備に対する補助であるため、目標の設定ができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	令和8年度当初予算にて追加 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない	
(評価) 2	骨髄移植の実施に必要な無菌治療室を整備する医療機関に対して財政的支援を行うことで、患者の早期治療を実現できる体制を推進するものであり、事業の必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3: 期待以上の成果あり 2: 期待どおりの成果あり 1: 期待どおりの成果が得られていない 0: ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 無菌治療室を整備している医療機関は限られており、治療を開始するまでに待機期間を要する患者がいるため、診療提供体制の均てん化を推進する必要がある
--

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、拠点病院を中心とした診療提供体制の均てん化に取り組むため、無菌治療室を整備する医療機関に対して支援する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	【〇〇課】